



BOJ *Reports & Research Papers*

日本銀行大分支店 特別調査レポート

大分県における人口移動の特徴

2021年9月30日
日本銀行大分支店

本稿は、野田悠平が作成しました。

内容に関する照会は、日本銀行大分支店総務課（TEL：097-533-9106 FAX：097-538-7085）までお寄せください。

本稿はインターネット（<https://www3.boj.or.jp/oita/>）からもご覧いただけます。

本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め日本銀行大分支店までご相談ください。

転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。

はじめに

大分県の人口は緩やかに減少している。人口減少は、経済社会の縮小や活力の低下などに繋がることから、喫緊の課題となっている。

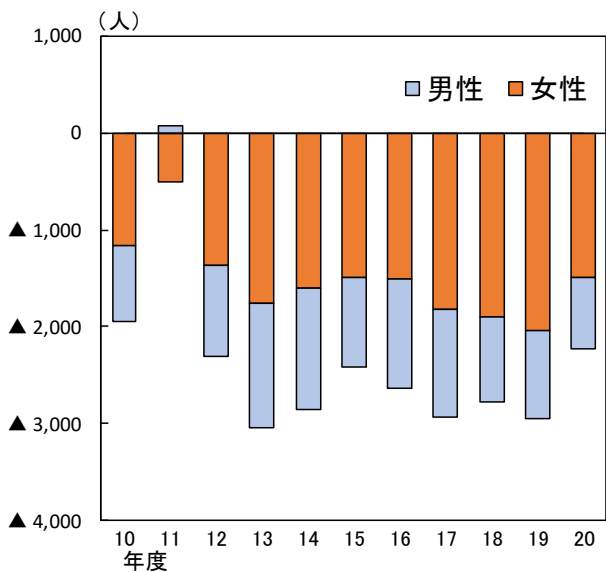
本レポートでは、近年の大分県の人口移動を俯瞰した上で、転入超過となっている自治体（豊後高田市など）の特徴や、テレワークなどコロナ禍における人々の行動変容を捉えた大分県の移住定住支援に関する取り組み等を整理した。

1. 大分県全体でみた人口移動の特徴

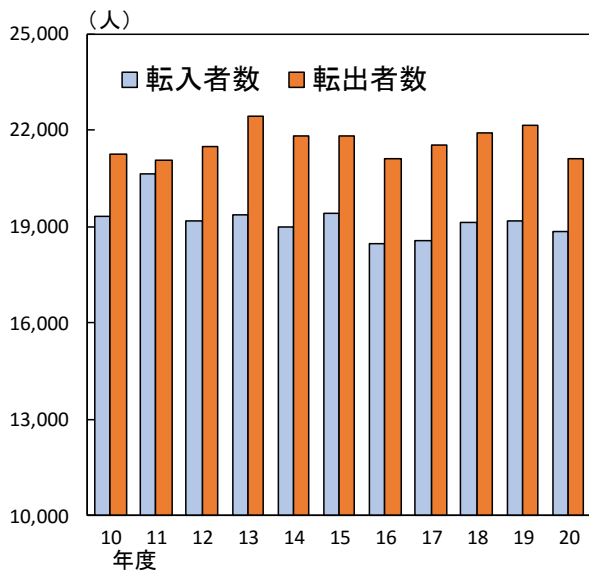
(1) 大分県の人口移動の状況

- 2010年度以降の大分県の人口移動をみると、一貫して転出超過の状況にあり、県内からの転出者が、県内への転入者を上回って推移。
- 大分県の人口移動を年齢別にみると、15～24歳の転出超過数が多く、進学や就職を契機に県外に転出している姿が確認できる。

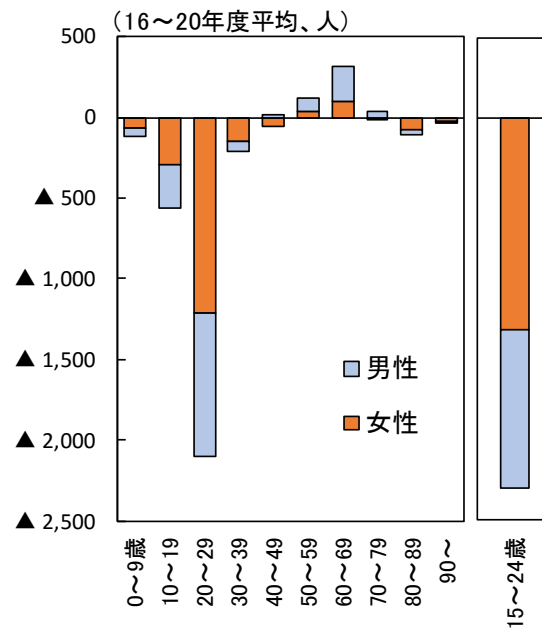
(図表1) 大分県の転入超過数
(マイナスは転出超過数)



(図表2) 大分県の転入者数・転出者数



(図表3) 大分県の転入超過数(年齢別)



(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(2) 他の都道府県や九州・沖縄との比較(男女計)

- 大分県の転出超過(社会減)の状況を他都道府県と比較するため、直近5年間平均の転入超過率(=転入超過数/人口、転出超過の場合はマイナス)をみると、大分県は全国28位。九州・沖縄平均を下回っている。

(図表4) 都道府県別にみた転入超過率(=転入率-転出率)、転入率、転出率(男女計)

▽転入超過率 (%)

順位	都道府県	転入超過率
1	東京都	0.45
2	埼玉県	0.34
3	神奈川県	0.26
4	千葉県	0.19
5	福岡県	0.08
.	.	.
9	沖縄県	▲ 0.00
.	.	.
22	佐賀県	▲ 0.21
.	.	.
25	鹿児島県	▲ 0.22
26	熊本県	▲ 0.23
.	.	.
28	大分県	▲ 0.24
.	.	.
32	宮崎県	▲ 0.25
.	.	.
47	長崎県	▲ 0.50

▽転入率 (%)

順位	都道府県	転入率
1	東京都	3.21
2	千葉県	2.57
3	埼玉県	2.55
.	.	.
8	福岡県	2.03
9	佐賀県	1.99
.	.	.
11	沖縄県	1.86
.	.	.
18	宮崎県	1.72
.	.	.
20	長崎県	1.71
.	.	.
25	鹿児島県	1.68
26	大分県	1.68
.	.	.
29	熊本県	1.64
.	.	.
47	北海道	0.99

▽転出率 (%)

順位	都道府県	転出率
1	東京都	2.75
2	千葉県	2.38
3	京都府	2.33
.	.	.
6	長崎県	2.21
7	佐賀県	2.20
.	.	.
16	宮崎県	1.98
.	.	.
18	福岡県	1.95
.	.	.
20	大分県	1.92
21	鹿児島県	1.90
.	.	.
23	熊本県	1.87
24	沖縄県	1.86
.	.	.
47	北海道	1.08

九州・沖縄単純平均 ▲ 0.20

九州・沖縄単純平均 1.79

九州・沖縄単純平均 1.99

(注) 転入超過率(=転入超過数<転出超過の場合はマイナス>/人口)、転入率(=転入者数/人口)、転出率(=転出者数/人口)の算出時における転入超過数・転入者数・転出者数は、直近5年間平均(16~20年度平均)の計数を使用。人口は、令和2年国勢調査の人口速報集計を使用。

(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」、「令和2年国勢調査」

(3) 他の都道府県や九州・沖縄との比較(男性)

➤ 男性の転入超過率をみると、大分県は全国23位で、九州・沖縄平均と同水準となっている。

(図表5) 都道府県別にみた転入超過率(=転入率-転出率)、転入率、転出率(男性)

▽転入超過率 (%)

順位	都道府県	転入超過率
1	東京都	0.37
2	埼玉県	0.35
3	神奈川県	0.24
4	千葉県	0.15
5	福岡県	0.07
・	・	・
8	沖縄県	0.01
・	・	・
23	大分県	▲ 0.18
24	鹿児島県	▲ 0.18
・	・	・
27	熊本県	▲ 0.19
28	佐賀県	▲ 0.20
・	・	・
34	宮崎県	▲ 0.25
・	・	・
47	長崎県	▲ 0.48

▽転入率 (%)

順位	都道府県	転入率
1	東京都	3.44
2	千葉県	2.87
3	埼玉県	2.82
・	・	・
8	福岡県	2.37
9	佐賀県	2.27
・	・	・
17	長崎県	2.11
18	沖縄県	2.10
・	・	・
21	宮崎県	2.05
22	大分県	2.04
23	鹿児島県	2.02
・	・	・
26	熊本県	1.97
・	・	・
47	新潟県	1.24

▽転出率 (%)

順位	都道府県	転出率
1	東京都	3.07
2	千葉県	2.72
3	京都府	2.63
4	長崎県	2.58
・	・	・
7	佐賀県	2.48
・	・	・
15	宮崎県	2.30
・	・	・
17	福岡県	2.29
・	・	・
20	大分県	2.22
21	鹿児島県	2.20
・	・	・
24	熊本県	2.16
・	・	・
27	沖縄県	2.08
・	・	・
47	北海道	1.30

九州・沖縄単純平均 ▲ 0.18

九州・沖縄単純平均 2.11

九州・沖縄単純平均 2.29

(注) 転入超過率(=男性転入超過数<転出超過の場合はマイナス>/男性人口)、転入率(=男性転入者数/男性人口)、転出率(=男性転出者数/男性人口)の算出時における転入超過数・転入者数・転出者数は、直近5年間平均(16~20年度平均)の計数を使用。人口は、令和2年国勢調査の人口速報集計を使用。

(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」、「令和2年国勢調査」

(4) 他の都道府県や九州・沖縄との比較(女性)

- ▶ 女性の転入超過率をみると、大分県は全国31位で、九州・沖縄平均を下回っている。これは、転出率が高いわけではなく、転入率が低いことが要因(大分県の転入率は九州・沖縄の中で最下位)。

(図表6) 都道府県別にみた転入超過率(=転入率-転出率)、転入率、転出率(女性)

▽転入超過率

順位	都道府県	転入超過率 (%)
1	東京都	0.54
2	埼玉県	0.33
3	神奈川県	0.28
・	・	・
6	福岡県	0.08
・	・	・
9	沖縄県	▲ 0.02
・	・	・
22	佐賀県	▲ 0.22
・	・	・
26	宮崎県	▲ 0.26
27	熊本県	▲ 0.26
28	鹿児島県	▲ 0.26
・	・	・
31	大分県	▲ 0.30
・	・	・
47	長崎県	▲ 0.53

九州・沖縄単純平均 ▲ 0.22

▽転入率

順位	都道府県	転入率 (%)
1	東京都	2.98
2	埼玉県	2.29
3	千葉県	2.29
・	・	・
6	佐賀県	1.73
・	・	・
8	福岡県	1.72
・	・	・
12	沖縄県	1.63
・	・	・
18	宮崎県	1.43
19	鹿児島県	1.37
・	・	・
25	長崎県	1.36
26	熊本県	1.35
27	大分県	1.34
・	・	・
47	北海道	0.77

九州・沖縄単純平均 1.49

▽転出率

順位	都道府県	転出率 (%)
1	東京都	2.45
2	京都府	2.06
3	千葉県	2.05
・	・	・
6	佐賀県	1.95
7	長崎県	1.88
・	・	・
15	宮崎県	1.69
・	・	・
18	沖縄県	1.65
・	・	・
20	大分県	1.64
21	福岡県	1.64
22	鹿児島県	1.63
・	・	・
25	熊本県	1.60
・	・	・
47	北海道	0.88

九州・沖縄単純平均 1.71

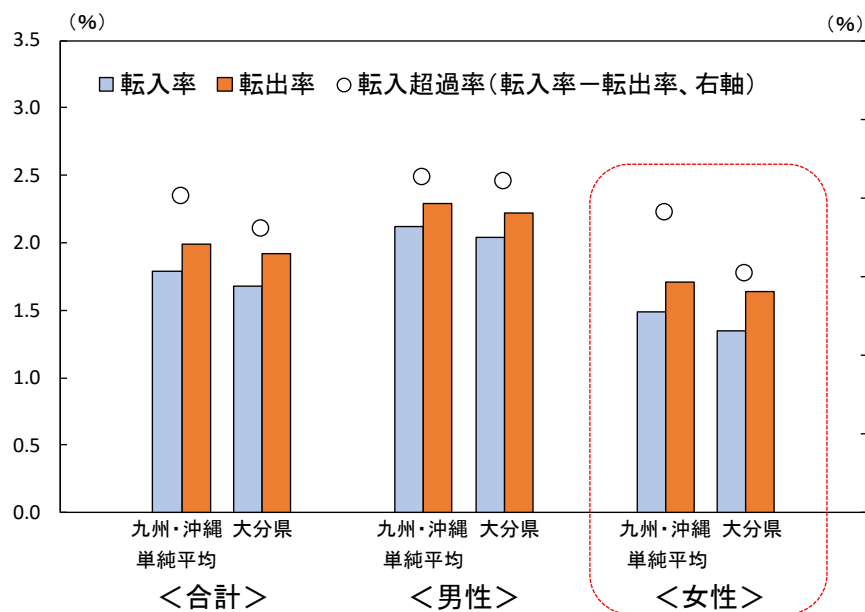
(注) 転入超過率(=女性転入超過数<転出超過の場合はマイナス>/女性人口)、転入率(=女性転入者数/女性人口)、転出率(=女性転出者数/女性人口)の算出時における転入超過数・転入者数・転出者数は、直近5年間平均(16~20年度平均)の計数を使用。人口は、令和2年国勢調査の人口速報集計を使用。

(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」、「令和2年国勢調査」

(5) 他の都道府県や九州・沖縄との比較(まとめ)

- 大分県の転入超過率を都道府県別にみると、概ね中位(全国28位)に位置。九州・沖縄平均を下回っているのは、女性の転入率の低さが主因。

(図表7)九州・沖縄平均と大分県の転入超過率



【合計】

	転入率 (a)	転出率 (b)	転入超過率 (a)-(b)
九州・沖縄単純平均(c)	1.79	1.99	▲ 0.20
大分県(d)	1.68	1.92	▲ 0.24
九州・沖縄単純平均との差(d)-(c)	▲ 0.11	▲ 0.07	▲ 0.04

▽男性

	転入率 (a)	転出率 (b)	転入超過率 (a)-(b)
九州・沖縄単純平均(c)	2.11	2.29	▲ 0.18
大分県(d)	2.04	2.22	▲ 0.18
九州・沖縄単純平均との差(d)-(c)	▲ 0.07	▲ 0.07	▲ 0.00

▽女性

	転入率 (a)	転出率 (b)	転入超過率 (a)-(b)
九州・沖縄単純平均(c)	1.49	1.71	▲ 0.22
大分県(d)	1.34	1.64	▲ 0.30
九州・沖縄単純平均との差(d)-(c)	▲ 0.15	▲ 0.07	▲ 0.08

(資料)総務省「住民基本台帳人口移動報告」、「令和2年国勢調査」

【BOX】九州・沖縄、東京圏、大阪圏との人口移動

➤ 大分県と他地域間の人口移動をみると、長崎県や宮崎県、鹿児島県に対しては転入超過となっているものの、福岡県や東京圏、大阪圏に対しては女性を中心に大幅な転出超過となっている。

—— なお、福岡県をみると、九州・沖縄の各県に対しては転入超過となっているものの、東京圏や大阪圏に対しては女性を中心に転出超過となっている。

(図表8)地域間における転入超過数(16~20年平均)

(人)

		合計	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	東京圏	大阪圏	
転入超過数	福岡県	合計	3,581		1,046	3,208	1,637	1,190	1,029	1,371	244	▲ 6,724	▲ 1,111
		男性	1,421		421	1,296	638	365	482	599	129	▲ 2,709	▲ 232
		女性	2,159		625	1,912	999	825	547	773	114	▲ 4,015	▲ 879
	佐賀県	合計	▲ 1,834	▲ 1,046		344	46	41	9	26	▲ 0	▲ 818	▲ 250
		男性	▲ 844	▲ 421		182	25	2	18	16	▲ 3	▲ 396	▲ 110
		女性	▲ 990	▲ 625		161	21	38	▲ 9	11	2	▲ 422	▲ 139
	長崎県	合計	▲ 6,523	▲ 3,208	▲ 344		▲ 180	▲ 75	▲ 4	▲ 43	▲ 95	▲ 1,534	▲ 476
		男性	▲ 2,864	▲ 1,296	▲ 182		▲ 70	▲ 49	1	▲ 3	▲ 68	▲ 691	▲ 196
		女性	▲ 3,659	▲ 1,912	▲ 161		▲ 110	▲ 26	▲ 5	▲ 40	▲ 26	▲ 844	▲ 280
	熊本県	合計	▲ 4,242	▲ 1,637	▲ 46	180		104	151	50	▲ 16	▲ 2,117	▲ 475
		男性	▲ 1,756	▲ 638	▲ 25	70		96	83	22	▲ 6	▲ 919	▲ 145
		女性	▲ 2,486	▲ 999	▲ 21	110		8	68	28	▲ 10	▲ 1,197	▲ 330
	大分県	合計	▲ 2,760	▲ 1,190	▲ 41	75	▲ 104		90	49	1	▲ 1,210	▲ 296
		男性	▲ 964	▲ 365	▲ 2	49	▲ 96		54	36	3	▲ 525	▲ 79
		女性	▲ 1,796	▲ 825	▲ 38	26	▲ 8		36	12	▲ 3	▲ 685	▲ 217
	宮崎県	合計	▲ 2,945	▲ 1,029	▲ 9	4	▲ 151	▲ 90		▲ 28	33	▲ 1,263	▲ 276
		男性	▲ 1,377	▲ 482	▲ 18	▲ 1	▲ 83	▲ 54		▲ 23	17	▲ 542	▲ 71
		女性	▲ 1,568	▲ 547	▲ 9	5	▲ 68	▲ 36		▲ 5	17	▲ 721	▲ 205
	鹿児島県	合計	▲ 3,726	▲ 1,371	▲ 26	43	▲ 50	▲ 49	28		▲ 12	▲ 1,671	▲ 347
		男性	▲ 1,484	▲ 599	▲ 16	3	▲ 22	▲ 36	23		0	▲ 631	▲ 61
		女性	▲ 2,242	▲ 773	▲ 11	40	▲ 28	▲ 12	5		▲ 12	▲ 1,040	▲ 286
	沖縄県	合計	▲ 119	▲ 244	0	95	16	▲ 1	▲ 33	12		▲ 578	282
		男性	▲ 3	▲ 129	3	26	6	▲ 3	▲ 17	▲ 0		▲ 230	156
		女性	▲ 115	▲ 114	▲ 2	68	10	3	▲ 17	12		▲ 348	126
東京圏	合計	127,741	6,724	818	1,534	2,117	1,210	1,263	1,671	578		23,109	
	男性	55,571	2,709	396	691	919	525	542	631	230		11,418	
	女性	72,171	4,015	422	844	1,197	685	721	1,040	348		11,691	
大阪圏	合計	▲ 6,790	1,111	250	476	475	296	276	347	▲ 282	▲ 23,109		
	男性	▲ 7,155	232	110	196	145	79	71	61	▲ 156	▲ 11,418		
	女性	365	879	139	280	330	217	205	286	▲ 126	▲ 11,691		

(注) 東京圏は、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県合計。大阪圏は大阪府、兵庫県、京都府、奈良県合計。

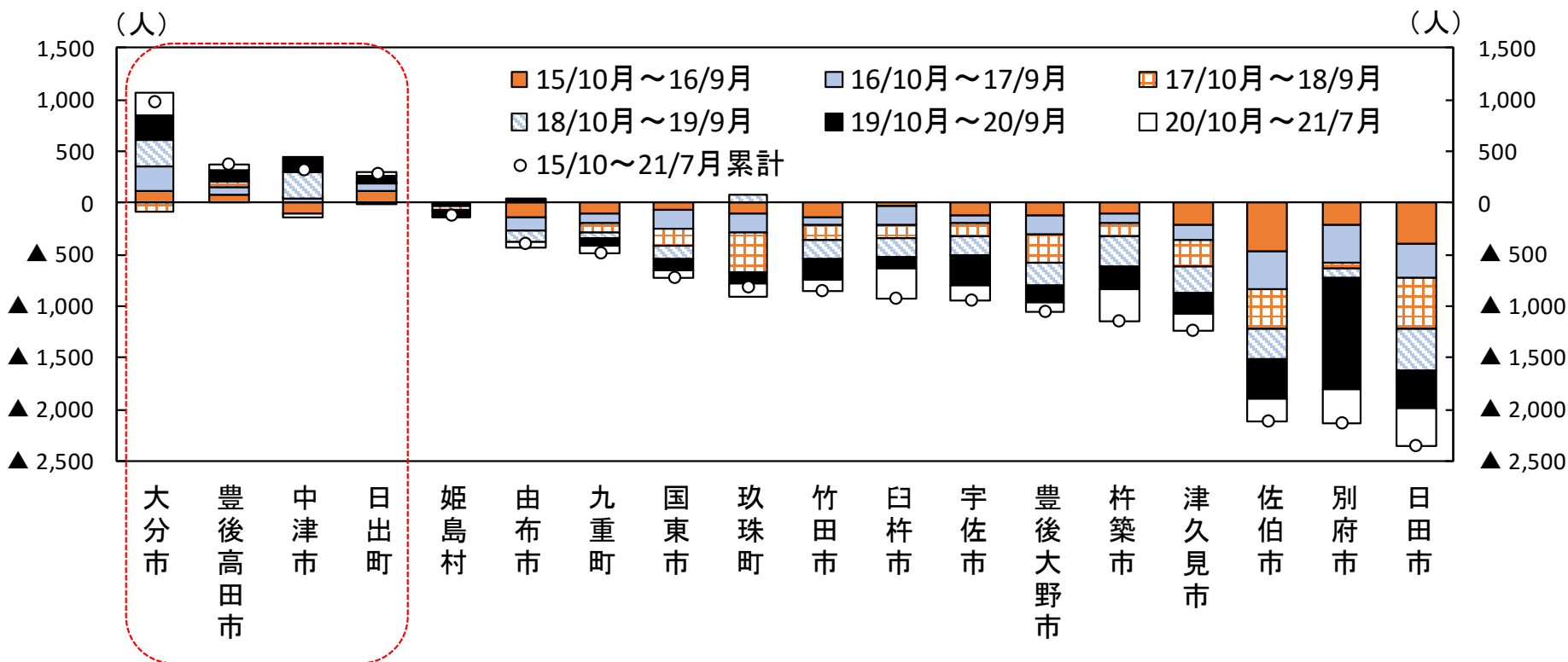
(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

2. 市町村別にみた人口移動の特徴

(1) 市町村別にみた人口移動の状況

➤ 大分県の市町村別に直近5年程度(15/10月～21/7月)の人口移動をみると、大分市、豊後高田市、中津市、日出町では転入超過となっている。

(図表9)大分県の転入超過数(市町村別、転出超過の場合はマイナス)

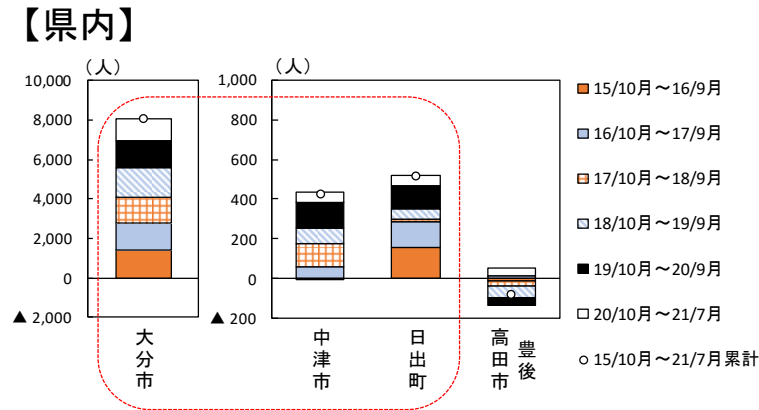


(資料)大分県「大分県の人口推計」

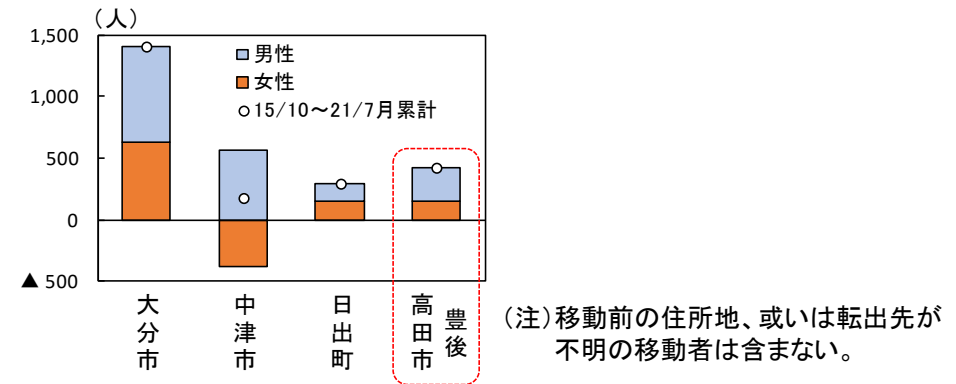
(2) 転入超過にある自治体の特徴

- 転入超過の自治体の子細にみると、大分市、中津市、日出町は、県内からの転入者が多い。一方で、豊後高田市は、①県外からの転入者が多く、とりわけ、②県を跨いで移動する女性の転入超過者がプラスとなっており、女性の転入率が低い大分県にとって注目すべき動きとなっている。

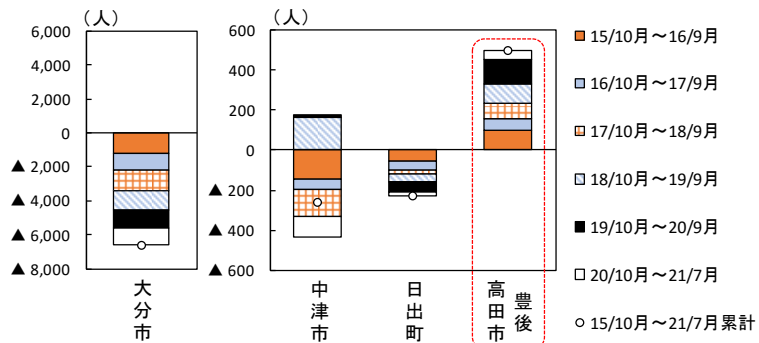
(図表10) 4市町の転入超過数(県内・県外)



(図表11) 4市町の転入超過数(男女別)

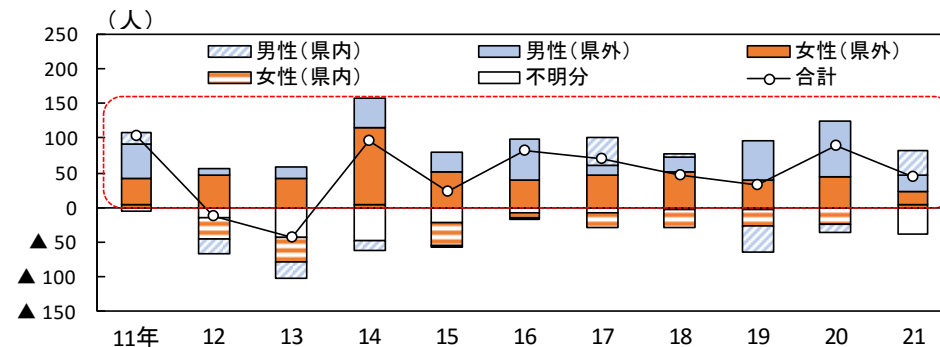


【県外】



(注) 移動前の住所地、或いは転出先が不明の移動者は含まない。

(図表12) 豊後高田市の転入超過数(男女別)



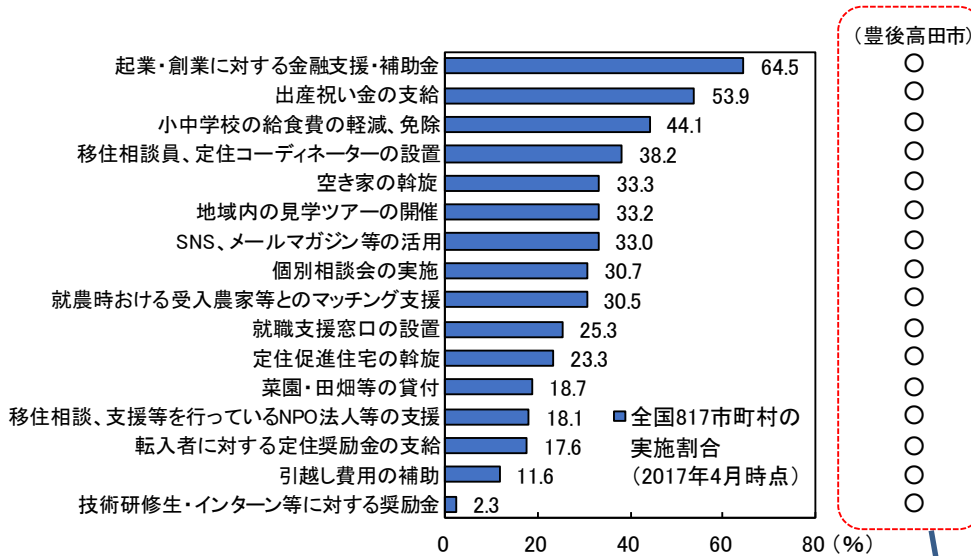
(注) 11~20年の期間は10月~9月(例えば、11年は10/10月~11/9月の期間)。21年の期間は20/10~21/7月。

(3) 豊後高田市の強み

➤ 豊後高田市が県外から人を呼び込めているのは、移住定住の支援事業に早くから注力してきたほか、移住にかかる不安を緩和する支援策が「オールラインナップ」で用意されていることなどが背景にあると考えられる。

—— なお、豊後高田市は、「田舎暮らしの本」(出版:宝島社)における「住みたい田舎ベストランキング」(2021年版、総合部門)において3年連続第1位を獲得している。

(図表13)市町村における移住定住促進施策の実施割合と豊後高田市の実施状況(2017年4月時点)



他の市町村では実施割合が低い項目も、支援策として用意

(図表14)豊後高田市の主な移住定住促進策

項目	概要
住居支援	○土地代無料の分譲宅地の整備
	○空き家リフォーム費用への助成
	○ペーパードライバーを対象とした運転教習料の助成
子育て支援	○妊産婦医療費が無料
	○子供誕生の祝い金が最大100万円
	○保育料と幼稚園授業料が無料
	○幼稚園～中学校の給食費が無料
	○0歳～高校生の医療費が無料
	○放課後や土曜日の学習支援(受講料無料)
	○子供の一時預かり・病児保育サービスの整備
就業支援	○子育て用品のレンタルサービス
	○ランドセル購入費用の一部助成
	○新規就農支援・開業資金の助成
	○県内学生が市内企業に新規就職した場合に奨学金返済の一部を支援(上限100万円)

(資料) 総務省 『『田園回帰』に関する調査研究報告書 (平成30年3月)』

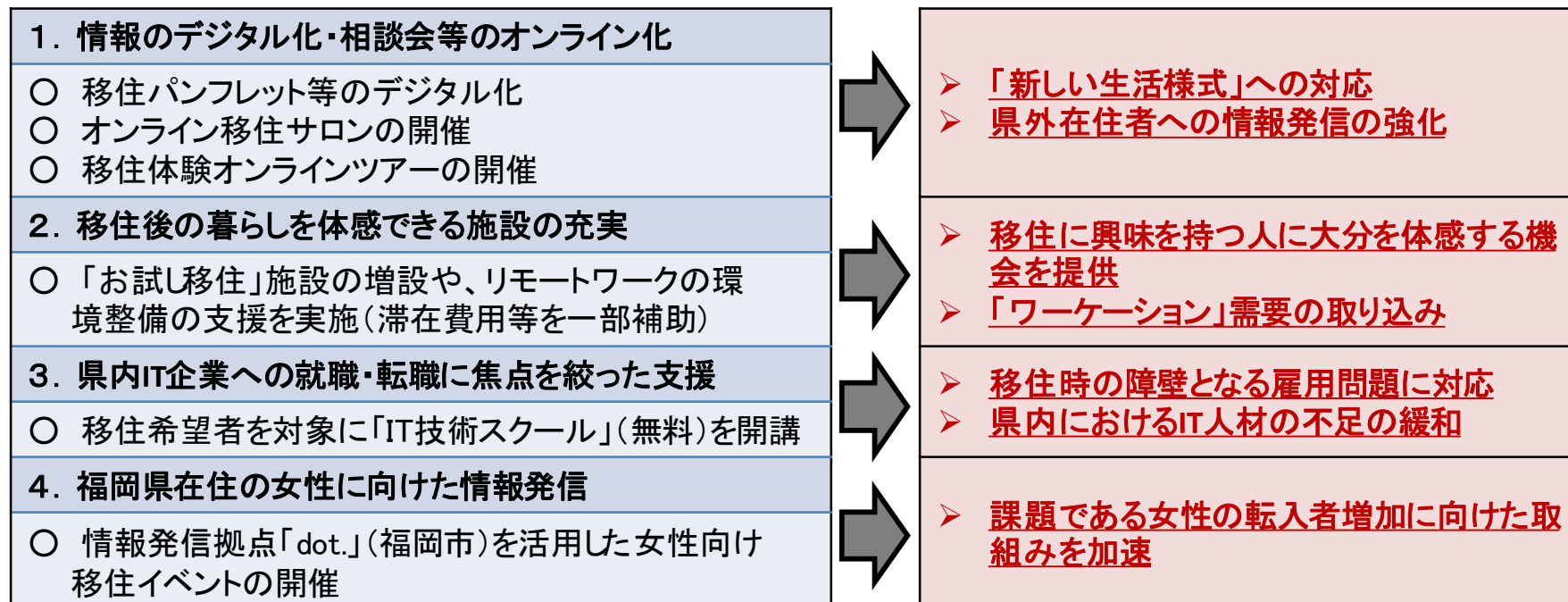
(資料) 豊後高田市HP

3. 大分県における移住定住関連施策

(1) 大分県の移住定住関連施策

- 新型コロナウイルス感染症拡大以降、県内では転出超過数が改善している（＜参考＞コロナ禍における大分県の人口移動参照、P17～22）。大分県は、これを地方移住促進の好機と捉えて、移住定住の支援体制を強化している。今年度からは、移住希望者を対象にIT技術の取得を支援する新事業を開始しており、移住時の障壁となる雇用の問題にも対応するなど、より踏み込んだ施策を展開。
 - 大分県は、3/24日に大手IT企業と移住・ワーケーションに関する包括協定を締結しており、「転職なき移住」の推進にも取り組んでいる。

(図表15) 移住定住の促進に向けた大分県の施策
【特徴的な取組み】



(2) 大分県における移住定住関連施策

- 大分県では「おおいた子ども・子育て応援プラン」を策定しており、「子育て満足度日本一」の実現に向けた各種施策を展開している。こうした取組みが、自然減だけでなく、社会減の抑制にも繋がることが期待される。
- また、社会減の抑制の観点からは、経済的な豊かさも重要。県内企業の経済活動や、生産性向上に向けた取組みを大分県が支援することにより、県民の所得改善に繋がることも期待される。

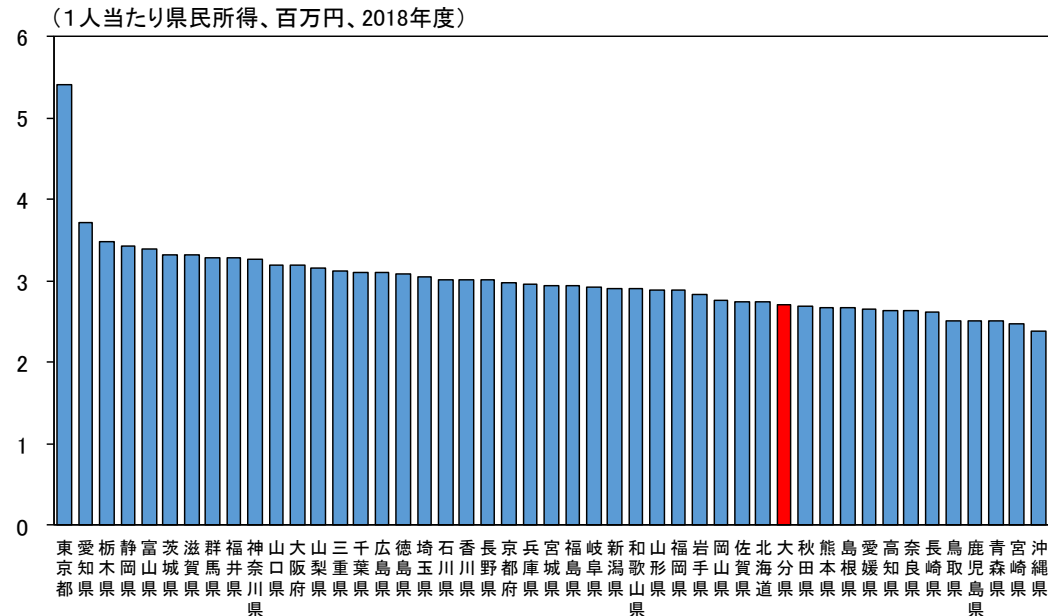
(図表16)「おおいた子ども・子育て応援プラン」
(第4期計画)の総合的な評価指標

評価指標	都道府県順位	
	20年度末	24年度末 (目標値)
25～44歳女性の就業率	21位 (78.6%)	1位
合計特殊出生率	10位 (1.57)	1位
6歳未満の子どもを持つ 男性の家事・育児関連時間	12位 (88分)	1位
保育所等待機児童数	12位 (10人)	1位
放課後児童クラブ待機児童数	12位 (56人)	1位

総合的な評価指標については、全部で11の指標を設定しているほか、個別事業毎の目標値も設定。

(資料)大分県HP、
大分県「おおいた子ども・子育て応援プラン(第4期計画)」

(図表17)1人当たり県民所得



(資料)内閣府「県民経済計算」

結びにかえて

大分県の人口は転出超過の状態にあるものの、豊後高田市のように、県外から人を呼び込むことにより転入超過となっている自治体も存在する。足許、大分県においても、県外への情報発信を強化すると同時に、移住定住に関して手厚い支援メニューを用意することで社会減を抑制しようとしている。

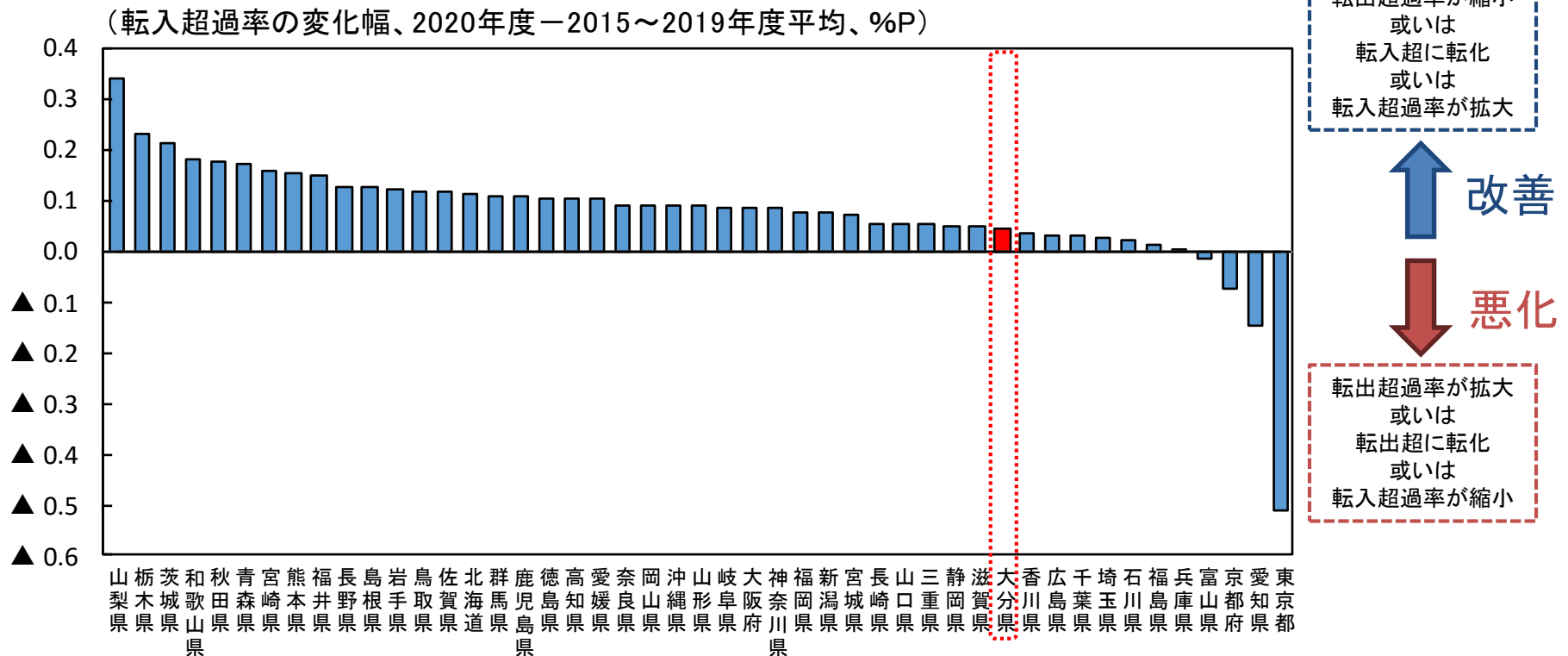
県内の人口減少に歯止めがかかれば、地域経済の活性化に繋がる。新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした人々の行動変容がみられる中、「人と知」が大分県に流入することで、県内経済に更なる好循環が生まれることを期待したい。

(参考)コロナ禍における大分県の人口移動

(1) 他の都道府県との比較

➤ 新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大以降の人口移動の変化を確認するべく、過去5年間（15～19年度）と、20年度の転入超過率の変化幅をみると、大分県は転出超過率が縮小（改善）した。もっとも、他の都道府県と比較すると、改善幅は然程大きくない。

(図表18) 都道府県別にみた転入超過率の変化幅



(注) 転入超過率(=転入超過数/人口)の算出時における人口は、令和2年国勢調査の人口速報集計を利用。

(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」、「令和2年国勢調査」

(2) 感染症拡大以降の大分県の実況(男女計)

- 感染症拡大以降(20/1月～)の大分県の人口移動をみると、過去5年間(15～19年)平均との比較では、転出者数の減少が寄与する形で改善している。

(図表19) 感染症拡大以降の大分県の人口移動(男女計)



(図表20) 転入超過数における15～19年平均との比較(男女計)

	20/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(15～19年平均差、人)
転入超過数(a)-(b)	88	▲ 49	286	▲ 44	127	▲ 55	36	▲ 57	139	173	▲ 41	▲ 22	20/1月～20/12月
うち転入者数(a)	92	▲ 41	187	▲ 70	▲ 272	5	▲ 79	▲ 106	▲ 15	▲ 69	▲ 40	20	▲ 388
うち転出者数(b)	4	8	▲ 99	▲ 26	▲ 399	61	▲ 115	▲ 50	▲ 154	▲ 242	1	42	▲ 968

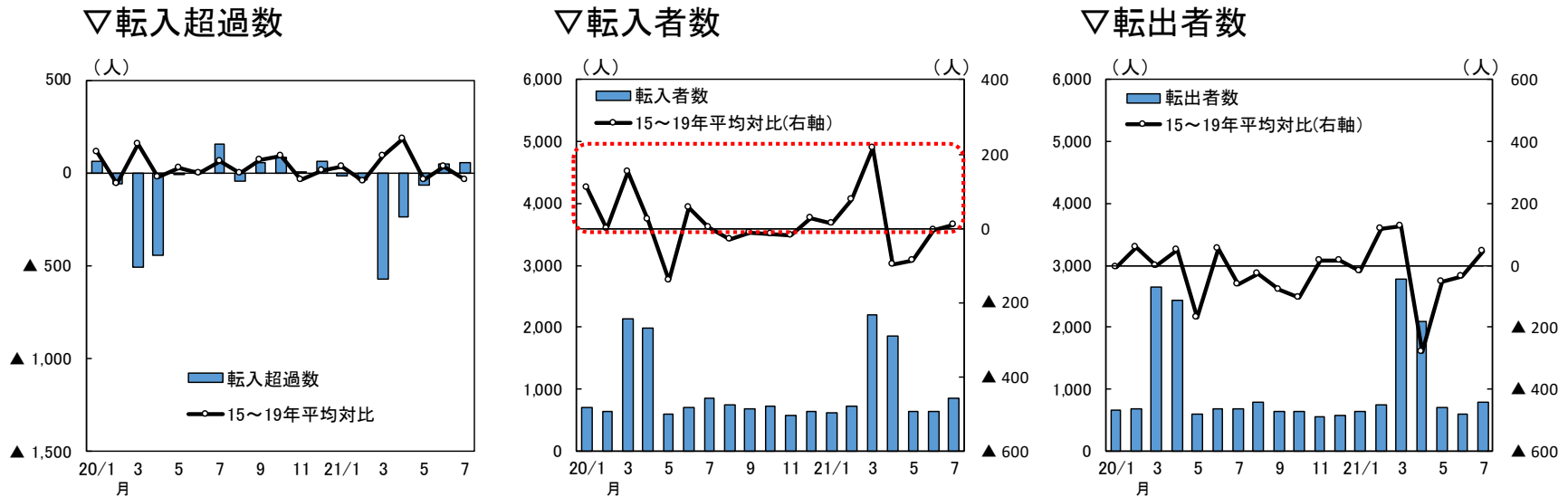
	21/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	(15～19年平均差、人)
転入超過数(a)-(b)	70	45	208	312	▲ 24	48	5	21/1月～21/7月
うち転入者数(a)	41	90	443	▲ 234	▲ 190	▲ 25	▲ 11	663
うち転出者数(b)	▲ 29	45	235	▲ 546	▲ 166	▲ 72	▲ 16	114
								▲ 549

(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(3) 感染症拡大以降の大分県の状況(男性)

➤ 県内男性の感染症拡大以降の移動状況をみると、過去5年平均との比較では、転出者数の減少に加え、転入者数の増加も、改善に寄与している。

(図表21) 感染症拡大以降の大分県の人口移動(男性)



(図表22) 転入超過数における15~19年平均との比較(男性)

	20/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(15~19年平均差、人)
転入超過数(a)-(b)	114	▲ 61	155	▲ 24	26	0	65	▲ 2	66	90	▲ 35	13	20/1月~20/12月
うち転入者数(a)	110	▲ 2	152	24	▲ 140	56	2	▲ 31	▲ 12	▲ 15	▲ 19	28	153
うち転出者数(b)	▲ 4	59	▲ 3	49	▲ 166	56	▲ 63	▲ 29	▲ 77	▲ 105	15	15	▲ 254

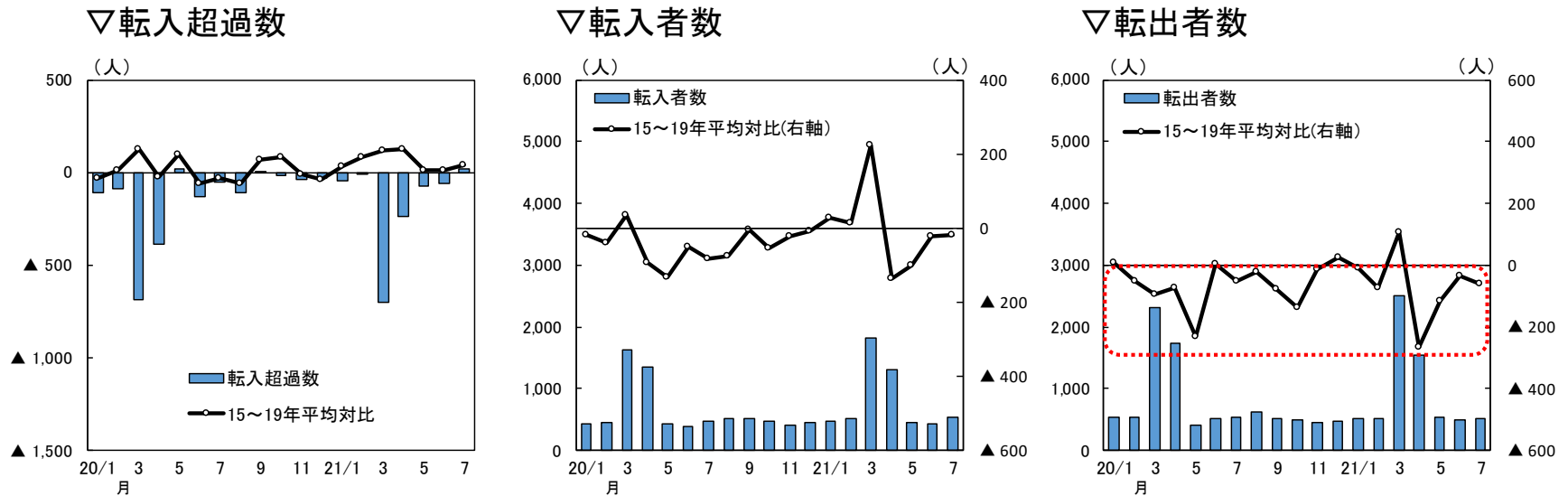
	21/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	(15~19年平均差、人)
転入超過数(a)-(b)	33	▲ 42	90	183	▲ 37	34	▲ 36	21/1月~21/7月
うち転入者数(a)	13	77	217	▲ 99	▲ 88	▲ 3	8	225
うち転出者数(b)	▲ 20	119	127	▲ 281	▲ 51	▲ 37	44	124
								▲ 101

(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(4) 感染症拡大以降の大分県の状況(女性)

➤ 一方、県内女性の感染症拡大以降の移動状況を見ると、過去5年平均との比較では、転入者数が減少しているものの、転出者数の減少幅が大きく、全体としては改善している。

(図表23) 感染症拡大以降の大分県の人口移動(女性)



(図表24) 転入超過数における15～19年平均との比較(女性)

	20/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(15～19年平均差、人)
転入超過数(a)-(b)	▲26	12	131	▲20	101	▲55	▲29	▲55	73	83	▲7	▲34	20/1月～20/12月
うち転入者数(a)	▲17	▲39	35	▲94	▲132	▲50	▲81	▲75	▲3	▲54	▲21	▲8	▲540
うち転出者数(b)	9	▲51	▲96	▲74	▲233	5	▲52	▲21	▲76	▲138	▲14	26	▲715

	21/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	21/1月～21/7月
転入超過数(a)-(b)	37	87	118	129	13	14	41	439
うち転入者数(a)	29	13	226	▲135	▲102	▲21	▲19	▲10
うち転出者数(b)	▲8	▲74	108	▲264	▲115	▲35	▲60	▲448

(資料)総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(5) 感染症拡大以降の大分県の大分県(年齢別)

- 感染症拡大以降の大分県の人口移動を年齢別にみると、19年同時期対比では、0～4歳と20～39歳、60歳以上を中心に改善している。性別にみた特徴としては、男性では30～39歳、女性では20～34歳における改善が目立つ。
- 以上を踏まえると、感染症拡大を受けて、リタイア層が県内に移住する動きがみられているほか、比較的若年層の家族と、20代女性の転出が抑制されていると考えられる。

(図表25) 大分県の人口移動(年齢別、性別、19年同時期対比)

▽合計

		(19年同時期対比、人)													
		総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
転入超過数(a)-(b)		1,400	▲187	37	6	▲40	113	34	334	228	▲32	37	84	35	377
20年		791	26	4	2	27	79	67	195	96	▲28	32	10	16	265
21/1月～7月		609	161	33	4	▲67	34	▲33	139	132	▲4	5	74	19	112
転入者数(a)		▲710	▲185	▲43	54	▲28	▲144	▲182	▲176	▲48	▲231	35	24	35	179
20年		▲588	▲145	▲31	48	▲54	▲127	▲169	▲125	▲102	▲100	19	7	17	174
21/1月～7月		▲122	▲40	▲12	6	26	▲17	▲13	▲51	54	▲131	16	17	18	5
転出者数(b)		▲2,110	▲372	▲80	48	12	▲257	▲216	▲510	▲276	▲199	▲2	▲60	0	▲198
20年		▲1,379	▲171	▲35	46	▲81	▲206	▲236	▲320	▲198	▲72	▲13	▲3	1	▲91
21/1月～7月		▲731	▲201	▲45	2	93	▲51	20	▲190	▲78	▲127	11	▲57	▲1	▲107

▽男性

		(19年同時期対比、人)													
		総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
転入超過数(a)-(b)		399	46	2	28	▲50	▲131	▲82	167	176	6	21	46	▲24	194
20年		317	▲20	▲18	17	6	▲64	▲1	96	123	7	▲1	21	▲4	155
21/1月～7月		82	66	20	11	▲56	▲67	▲81	71	53	▲1	22	25	▲20	39
転入者数(a)		▲242	▲128	▲10	40	3	▲53	▲134	▲85	60	▲135	37	32	4	127
20年		▲124	▲102	▲17	33	0	▲28	▲82	▲72	12	▲63	24	22	10	139
21/1月～7月		▲118	▲26	7	7	3	▲25	▲52	▲13	48	▲72	13	10	▲6	▲12
転出者数(b)		▲641	▲174	▲12	12	53	78	▲52	▲252	▲116	▲141	16	▲14	28	▲67
20年		▲441	▲82	1	16	▲6	36	▲81	▲168	▲111	▲70	25	1	14	▲16
21/1月～7月		▲200	▲92	▲13	▲4	59	42	29	▲84	▲5	▲71	▲9	▲15	14	▲51

▽女性

		(19年同時期対比、人)													
		総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
転入超過数(a)-(b)		1,001	141	35	▲22	10	244	116	167	52	▲38	16	38	59	183
20年		474	46	22	▲15	21	143	68	99	▲27	▲35	33	▲11	20	110
21/1月～7月		527	95	13	▲7	▲11	101	48	68	79	▲3	▲17	49	39	73
転入者数(a)		▲468	▲57	▲33	14	▲31	▲91	▲48	▲91	▲108	▲96	▲2	▲8	31	52
20年		▲464	▲43	▲14	15	▲54	▲99	▲87	▲53	▲114	▲37	▲5	▲15	7	35
21/1月～7月		▲4	▲14	▲19	▲1	23	8	39	▲38	6	▲59	3	7	24	17
転出者数(b)		▲1,469	▲198	▲68	36	▲41	▲335	▲164	▲258	▲160	▲58	▲18	▲46	▲28	▲131
20年		▲938	▲89	▲36	30	▲75	▲242	▲155	▲152	▲87	▲2	▲38	▲4	▲13	▲75
21/1月～7月		▲531	▲109	▲32	6	34	▲93	▲9	▲106	▲73	▲56	20	▲42	▲15	▲56

(資料)総務省「住民基本台帳人口移動報告」

<当店のホームページのご案内>

(当店ホームページのトップページ)

<https://www3.boj.or.jp/oita/index.html>

(大分県内の景気動向)

<https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/geppou.html>

(短観)

<https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tankan.html>

(特別調査レポートのご案内)

https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tokubetu_repo.html

(支店見学のご案内)

https://www3.boj.or.jp/oita/tennai_kengaku/kenngaku_annai.html

<当店の特別調査レポートのご案内>

<WEB上でご覧になっている方は、下記レポートのタイトルをクリックするとそのレポートを閲覧することができます>

- [大分県における人口移動の特徴](#) (21年9月30日公表)
- [大分県内における再生可能エネルギーの利用拡大に向けた動き ―地熱・温泉熱エネルギーを中心に―](#) (21年3月31日公表)
- [感染症拡大下でも底堅さを示す大分県の製造業](#) (20年11月18日公表)
- [大分県における観光業復活に向けた取り組み](#) (20年10月23日公表)
- [新型コロナウイルスの感染拡大を受けた大分県民の消費行動の変化](#) (20年9月11日公表)
- [県内企業における人材の確保・育成に向けた取り組み](#) (20年2月20日公表)
- [大分県の輸出構造と最近の動き](#) (19年11月1日公表)
- [大分県の企業立地](#) (19年10月25日公表)
- [大分県のインバウンド動向 ―世界的スポーツイベントの開催を前に―](#) (19年7月31日公表)
- [大分県の地価動向](#) (19年6月21日公表)
- [大分県のインターネット消費](#) (19年4月1日公表)
- [大分県の人口減少の緩和に向けて](#) (18年11月28日公表)
- [大分県内のキャッシュレス決済に関する現状整理](#) (18年10月25日公表)
- [観光消費の促進に向けた着眼点](#) (18年10月11日公表)
- [成長力強化が期待される大分県の農業](#) (18年6月19日公表)
- [イノベーションを捉え始めた県内製造業](#) (18年4月2日公表)